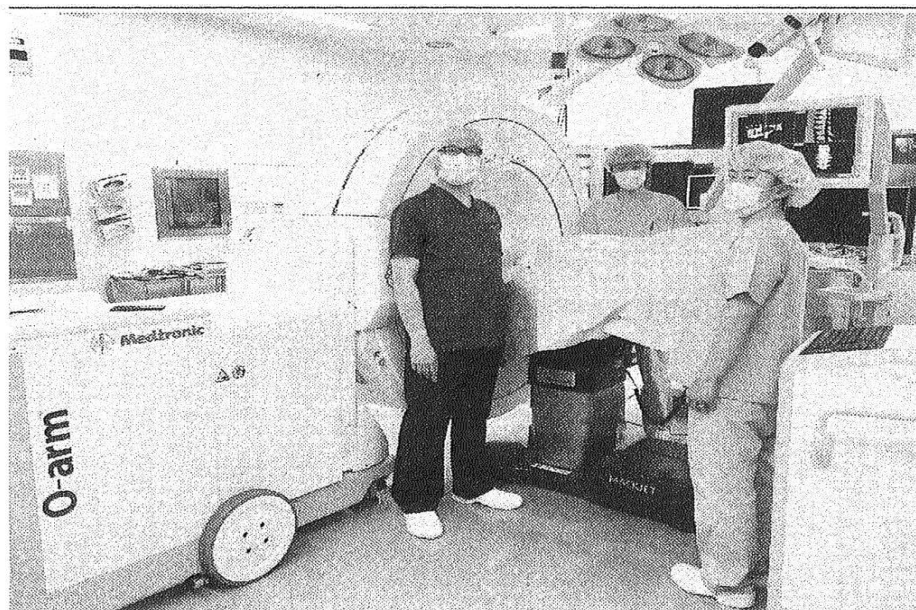


脊椎脊髓手術が充実

O-arm 2 導入

製鉄記念室蘭



室蘭市の製鉄記念室蘭病院(松木高雪理事長、前田征洋院長・347床)は、術中モバイルCT装置の新型O-armイメージングシステム(O-arm 2)を写真1を導入了。

従来型と比べて術中CT被ばく線量が約半分となり、小児や成人の脊柱変形手術での被ばく量を大幅に低減。撮像幅が30cmから40cmに広がったことで、撮像時間短縮と効率性の向上も図れる。

2013年にO-arm

mを北海道・東北地区で初導入して以来、16年までに900例を超える脊椎手術に活用している。複雑な脊柱変形や脊

椎靭帯骨化症、脊椎腫瘍などのハイリスク手術の精度と安全性の向上により、全道からの受診患者数は、紹介以外も増加しているという。

脊椎脊髓センター長の

据える。

同病院は4月1日付で日本脊椎脊髓病学会から、脊椎脊髓外科専門医基幹研修施設として認定された。18年3月18日には、ロイトン札幌(中央区)で小谷副院長が会長を務め、先端的低侵襲脊椎治療をテーマに「第9回日本MIS研究会」が開催される。

.....